

プログラム（第2日目） 11月27日（月）

《 口 演 》

08：20～08：30 グリオーマ分子診断の全国実態調査

「グリオーマ分子診断の全国実態調査 2017～中間報告」

08：30～10：00 スポンサーセミナー1 脳腫瘍研究：日本から世界へ

座長 永根 基雄、成田 善孝
共催 MSD 株式会社

SS1-1 Patient-derived models of CNS malignancies for preclinical therapeutic development

Hiroaki Wakimoto

Brain Tumor Research Center, Massachusetts General Hospital, Boston, MA, USA

SS1-2 Retroviral Replicating Vectors for Gene Therapy of Glioma: Translational Development and Clinical Update with Long-Term Follow Up Data from 126 Patients

Noriyuki Kasahara

Departments of Cell Biology and Pathology, University of Miami, Miami, FL, USA

SS1-3 小児脳腫瘍研究の現状 ～世界の中の日本～

国立がん研究センター研究所 脳腫瘍連携研究分野 市村 幸一 Ichimura Kouichi

14：15～14：45 通常総会

14：45～15：45 スポンサーセミナー2 深部静脈血栓症

座長 若林 俊彦
共催 第一三共株式会社

SS2-1 〈一般口演〉脳腫瘍周術期における深部静脈血栓症病態・肺塞栓症の解析

東京医科大学 脳神経外科 松永 恭輔 Matsunaga Kyosuke

SS2-2 〈一般口演〉悪性神経膠腫に対するベバシズマブ治療 —治療終了原因の解析—

順天堂大学医学部附属練馬病院 脳神経外科 菱井 誠人 Hishii Makoto

SS2-3 〈特別講演〉CAT (cancer-associated thrombosis) vs. DOAC (direct oral anticoagulant)

長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 循環器内科学 池田 聡司 Ikeda Satoshi

15 : 45 ~ 16 : 15 教育講演 3

座長 浅井 昭雄
[An update on clinical trials evaluating immune checkpoint inhibitors for glioblastoma]
David A. Reardon
Center for Neuro-Oncology Medical Oncology, Dana-Farber Cancer Institute
Boston, MA, USA

16 : 15 ~ 16 : 45 教育講演 4

座長 隈部 俊宏
[Pediatric Brain Tumors – a compendium of distinct biological entities]
Amar Gajjar
Department of Pediatric Medicine Director, Neuro-Oncology Division
St. Jude Children's Research Hospital, Memphis, TN, USA

16 : 45 ~ 17 : 55 シンポジウム 4 最新の治療

座長 藤巻 高光、杉山 一彦

- S4-1 Carmustine wafers を留置した悪性神経膠腫患者 506 例の生命予後に対する影響因子の検討
愛媛大学大学院 医学系研究科 脳神経外科学 井上 明宏 Inoue Akihiro
- S4-2 日本人における悪性神経膠腫に対するベバシズマブ使用成績調査
杏林大学 医学部 脳神経外科 永根 基雄 Nagane Motoo
- S4-3 再発神経膠腫に対する変異型 IDH1 阻害剤 DS-1001b を用いた第 I 相臨床試験
国立がん研究センター 成田 善孝 Narita Yoshitaka
- S4-4 初発膠芽腫に対するホウ素中性子捕捉療法を用いる多施設共同第二相試験の結果
大阪医科大学 医学部 脳神経外科 川端 信司 Kawabata Shinji
- S4-5 再発膠芽腫に対する eribulin を用いた多施設第 II 相医師主導治験
国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科 高橋 雅道 Takahashi Masamichi
- S4-6 Convection-enhanced delivery による局所化学療法開発の現状
東北大学大学院 医学系研究科 神経外科学 齋藤 竜太 Saito Ryuta
- S4-7 Long term Survival in Glioblastoma Patients Treated with Tumor Treating Fields (TTFields) Therapy
Na Homolce Hospital, Prague, Czech Republic Josef Vymazal

17:55 ~ 18:55 特別講演 2

座長 廣瀬 雄一
共催 中外製薬株式会社

[A review of local therapies as an adjuvant to GBM surgery]

E. Antonio Chiocca
Department of Neurosurgery, Brigham and Women's Hospital, Boston, MA, USA

《 ポスターセッション 》

21:30 ~ 21:50 ポスターセッション 21 手術 (PDT・他)

座長 秋元 治朗

- P21-1 初発膠芽腫に対する光線力学的療法 (PDT) ~治療成績、再発形式及び画像変化の検討
東京女子医科大学 脳神経外科 新田 雅之 Nitta Masayuki
- P21-2 悪性神経膠腫に対する Talaporfin sodium (レザフィリン) を用いた光線力学的診断
東京医科歯科大学 脳神経外科 清水 一秀 Shimizu Kazuhide
- P21-3 転移性脳腫瘍における 5-ALA を用いた術中蛍光診断の有用性の検討
国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科 近藤恵理香 Kondo Erika
- P21-4 磁場式ナビゲーションと頭蓋骨固定式生検針固定器を用いた定位脳生検
長崎大学 医学部 脳神経外科 鎌田 健作 Kamada Kensaku

21:50 ~ 22:20 ポスターセッション 22 PET 画像

座長 難波 宏樹

- P22-1 脳腫瘍疑い病変の鑑別に関する、Methionine PET の有効性の検討~経過観察 23 例から~
東京大学 医学部 脳神経外科 花 大洵 Hana Taijun
- P22-2 Dynamic ¹¹C-methionine PET を用いた脳腫瘍の Time Activity Curve の検討
岐阜大学 医学部 脳神経外科 野村 悠一 Nomura Yuichi
- P22-3 新規腫瘍血管内皮細胞マーカーの発現評価と PET イメージング
筑波大学 医学医療系 脳神経外科 松田 真秀 Matsuda Masahide
- P22-4 神経膠腫の非造影病変での定量的評価による MET-PET と MGMT メチル化率の相関性
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 脳神経外科 沖田 典子 Okita Yoshiko
- P22-5 glioma における MRI 画像と ¹¹C-methionine PET 所見の差異とその病理学的意義について
宇部興産中央病院 脳神経外科 出口 誠 Ideguchi Makoto

P22-6 膠芽腫における methionine PET と MRI 画像の放射線治療後の経時的变化の違いについて

木沢記念病院中部療護センター 川崎 智弘 Kawasaki Tomohiro

22:20 ~ 22:50 ポスターセッション 23 PET 画像

座長 篠田 淳

P23-1 神経膠腫における MRI、PET 画像と悪性度の比較

愛媛大学大学院 医学系研究科 脳神経外科学 高野 昌平 Kohno Shohei

P23-2 MRI とメチオニン PET 所見から神経膠腫の病理診断や予後予測は可能か？

北海道大学 医学研究院 脳神経外科 山口 秀 Yamaguchi Shigeru

P23-3 PET 検査を用いた Glioma 画像診断の診断精度の検討

社会医療法人厚生会木沢記念病院・中部療護センター 武井 啓晃 Takei Hiroaki

P23-4 [11C]methionine-PET の集積と WHO2016 改定分類に基づいた glioma の分類の比較検討

東京医科歯科大学 医学部 脳神経外科 山内 崇弘 Yamauchi Takahiro

P23-5 glioma の遺伝子変異と Methionine-PET の相関性について

近畿大学 医学部 脳神経外科 露口 尚弘 Tsuyuguchi Naohiro

P23-6 脳腫瘍における FMISO-PET と VEGF, HIF-1 α 発現の検討

京都大学 医学部 脳神経外科 徳永 真也 Tokunaga Shinya

22:50 ~ 23:15 ポスターセッション 24 画像解析

座長 中田 光俊

P24-1 拡散画像の Radiomics 解析と機械学習による 神経膠腫の悪性度評価と病理型診断

東京大学 医学部 脳神経外科 高橋 慧 Takahashi Satoshi

P24-2 膠芽腫の初回術前 MRI 画像に対する機械学習アプローチを用いた予後予測の検討

産業総合研究所 人工知能研究センター 機械学習研究チーム 河口 理紗 Kawaguchi Risa

P24-3 MGMT プロモーター領域のメチル化予測を目指した膠芽腫の Radiomics 解析

関西中枢神経腫瘍分子診断ネットワーク 佐々木貴浩 Sasaki Takahiro

P24-4 Lower Grade Glioma の Radiogenomic 解析

関西中枢神経腫瘍分子診断ネットワーク 有田 英之 Arita Hideyuki

P24-5 経時的画像 follow 後治療介入した神経膠腫に対する後方視的腫瘍容量解析

北里大学 医学部 脳神経外科 柴原 一陽 Shibahara Ichiyo

21 : 30 ~ 21 : 55 ポスターセッション 25 脳腫瘍とてんかん

座長 浅野研一郎

- P25-1 神経膠腫患者における難治性てんかんがペランパネルで著効した一例
杏林大学 医学部 脳神経外科 島田 大輔 Shimada Daisuke
- P25-2 薬剤抵抗性てんかんを合併した神経膠腫におけるペランパネルの発作抑制と腫瘍抑制効果
近畿大学 医学部 脳神経外科 泉本 修一 Izumoto Shuichi
- P25-3 当科における神経膠腫患者に対する Perampanel の初期使用経験
東北大学大学院 神経外科学分野 長南 雅志 Chonan Masashi
- P25-4 転移性脳腫瘍における脳腫瘍関連てんかんの頻度とリスクファクターについて
弘前大学大学院 医学研究科 脳神経外科 浅野研一郎 Asano Kenichiro
- P25-5 神経膠腫におけるてんかん発症の診断的価値
千葉県がんセンター 脳神経外科 井内 俊彦 Iuchi Toshihiko

21 : 55 ~ 22 : 15 ポスターセッション 26 腫瘍・病理

座長 篠山 隆司

- P26-1 脳室鏡下生検にて診断し得た傍脳室神経膠腫に対する臨床病理学的検討
東京医科大学 脳神経外科学分野 深見真二郎 Fukami Shinjiro
- P26-2 中心性神経細胞腫における細胞接着分子発現の解析
京都大学 医学部 脳神経外科 中村 大和 Nakamura Yamato
- P26-3 当科で治療を行った Neurocytoma 症例の臨床病理学的検討
岐阜大学 医学部 脳神経外科 矢野 大仁 Yano Hirohito
- P26-4 脊索種の病理組織学的検討
慶應義塾大学 医学部 脳神経外科 森本佑紀奈 Morimoto Yukina

22 : 15 ~ 22 : 45 ポスターセッション 27 稀な腫瘍 (症例) I

座長 山崎 文之

- P27-1 Melanoma との鑑別に難渋した巨大母斑 (cellular blue nevus of the scalp) の一例
大阪母子医療センター 脳神経外科 千葉 泰良 Chiba Yasuyoshi

- P27-2 腫瘍内出血をきたした未分化型肝内胆管細胞癌脈絡叢転移の1剖検例
和歌山労災病院 脳神経外科 林 宣秀 Hayashi Nobuhide
- P27-3 脳転移を契機に発見された尿路上皮癌の1例
市立函館病院 脳神経外科 大坂 美鈴 Osaka Misuzu
- P27-4 エベロリムスにて加療された原発巣不明の脳内神経内分泌癌の一例
鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 脳神経外科 米澤 大 Yonezawa Hajime
- P27-5 頭蓋骨原発骨肉腫の1例
伊勢赤十字病院 脳卒中センター 毛利 元信 Mohri Genshin
- P27-6 馬尾に発生し、腫瘍内出血を伴った anaplastic ependymoma の1例
徳島市民病院 脳神経外科 藤本 尚己 Fujimoto Naomi

22:45 ~ 23:15 ポスターセッション 28 稀な腫瘍 (症例) II

座長 立花 修

- P28-1 初発下垂体腺腫に放射線治療後髄腔内播種を起こした下垂体癌
長崎大学病院 脳神経外科 吉田 光一 Yoshida Koichi
- P28-2 視神経脊髄炎と鑑別が困難であった視神経腫瘍様病変の一例
福島県立医科大学 医学部 脳神経外科学講座 市川 優寛 Ichikawa Masahiro
- P28-3 多彩な分化傾向を呈した成人 high grade neuroepithelial tumor の一例
群馬大学医学部附属病院 病理部・病理診断科 山崎 文子 Yamazaki Ayako
- P28-4 diffuse leptomeningeal glioneuronal tumor の悪性転化の一例
浜松医科大学 医学部 脳神経外科 門脇 慎 Kadowaki Makoto
- P28-5 良好な治療経過を得た高齢者 primary sellar neuroblastoma の一例
日本大学 医学部 脳神経外科 山室 俊 Yamamuro Shun
- P28-6 頭蓋咽頭腫摘出後に脳血管攣縮による脳梗塞を生じた1例
市立東大阪医療センター 脳神経外科 藤本 京利 Fujimoto Takatoshi

21:30 ~ 22:00 ポスターセッション 29 ギリアデル治療

座長 大上 史朗

- P29-1 Arterial spin labeling で悪性神経膠腫でのギリアデル留置後の局所再発を予測しうるか
岩手医科大学 医学部 脳神経外科 佐藤 雄一 Sato Yuichi

- P29-2 BCNU wafer の治療域と安全域の検討
大阪医科大学 医学部 脳神経外科 藤城 高広 Fujishiro Takahiro
- P29-3 初発ならびに再発悪性神経膠腫に対する BCNU wafer の有用性の検討
愛媛県立中央病院 脳卒中センター 脳神経外科 大上 史朗 Ohue Shiro
- P29-4 初発膠芽腫に対する carmustine wafer (Gliadel) の治療成績
京都大学 医学部 脳神経外科 峰晴 陽平 Mineharu Yohei
- P29-5 当院における BCNU wafer を使用症例の検討
東京医科歯科大学 脳神経機能外科 今村 繭子 Imamura Mayuko
- P29-6 神経膠芽腫に対する寡分割大線量 IMRT における BCNU ウェハーの追加効果
千葉県がんセンター 脳神経外科 瀬戸口大毅 Setoguchi Taiki

22:00 ~ 22:25 ポスターセッション 30 ベバシズマブ治療 I

座長 上羽 哲也

- P30-1 関西中枢神経系腫瘍分子診断ネットワークにおけるベバシズマブ時代の膠芽腫治療
関西中枢神経腫瘍分子診断ネットワーク 森 鑑二 Mori Kanji
- P30-2 ベバシズマブ適応拡大後の多形膠芽腫の生存期間
鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 脳神経外科 平野 宏文 Hirano Hirofumi
- P30-3 単一施設における Bevacizumab 使用の現況と治療成績
北里大学 医学部 脳神経外科 稲村 彰紀 Inamura Akinori
- P30-4 悪性神経膠腫に対する、初発時 Bevacizumab 治療の課題
九州大学大学院 医学研究院 脳神経外科 秦 暢宏 Hata Nobuhiro
- P30-5 Bevacizumab 併用 Temozolomide 療法施行下の悪性神経膠腫症例の検討
岐阜大学 医学部 脳神経外科 中山 則之 Nakayama Noriyuki

22:25 ~ 22:50 ポスターセッション 31 ベバシズマブ治療 II

座長 平野 宏文

- P31-1 Grade II-III 神経膠腫再発／悪性転化に対するベバシズマブの治療成績の検討
大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経外科 梅原 徹 Umehara Toru
- P31-2 再発膠芽腫に対するガンマナイフとベバシズマブを併用した AVAgamma 療法の治療成績
中村記念病院 脳神経外科 脳腫瘍センターガンマナイフセンター 佐藤 憲市 Sato Kenichi

P31-3 再発 glioma に対する Bevacizumab 併用定位放射線治療 (SRT-Bv) による治療成績
東京女子医科大学 脳神経外科 安田 崇之 Yasuda Takayuki

P31-4 同一患者における初発膠芽腫に対するベバシズマブ術前投与前後の病理組織学的比較
東京慈恵会医科大学附属柏病院 脳神経外科 田中 俊英 Tanaka Toshihide

P31-5 再発膠芽腫に対するサイバーナイフ・ベバシズマブ併用療法の病理組織学的検討
東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科 平井 希 Hirai Nozomi

22 : 50 ~ 23 : 15 ポスターセッション 32 ベバシズマブ治療Ⅲ

座長 田中 俊英

P32-1 膠芽腫に対するベバシズマブ投与後の臨床経過に関する検討
国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科 津下奈都子 Tsushita Natsuko

P32-2 悪性神経膠腫症例におけるベバシズマブ治療後の再発形式と治療継続の意義
鳥取大学 医学部 脳神経外科 神部 敦司 Kambe Atsushi

P32-3 Glioma に対する Bevacizumab 投与開始時期、投与後の再発様式の検討
東京医科歯科大学 脳神経外科 壽美田一貴 Sumita Kazutaka

P32-4 MRI を用いた神経膠芽腫に対するベバシズマブ効果予測の検討
藤田保健衛大学 脳神経外科 西山 悠也 Nishimaya Yuya

P32-5 膠芽腫に対するベバシズマブ療法の腫瘍血管正常化作用における Notch の機能解析
東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科 齋藤 紀彦 Saito Norihiko

21 : 30 ~ 21 : 50 ポスターセッション 33 グリオーマⅣ (病理)

座長 荒川 芳輝

P33-1 膠芽腫における腫瘍幹細胞の部位特異的発現の解析—画像および腫瘍病態との対比から
愛媛大学大学院 医学系研究科 地域医療再生学講座 西川 真弘 Nishikawa Masahiro

P33-2 再発膠芽腫における PD-1 発現上昇と再発後の予後
筑波大学 医学医療系 脳神経外科 石川 栄一 Ishikawa Eiichi

P33-3 アルキル化剤による腫瘍縮小後に摘出された神経膠腫標本における病理組織学的検討
慶應義塾大学病院 医学部 脳神経外科 金澤 徳典 Kanazawa Tokunori

P33-4 類上皮膠芽腫と多型黄色星細胞腫の臨床病理学的関係
久留米大学 病理学講座 古田 拓也 Furuta Takuya

21:50 ~ 22:10 ポスターセッション 34 グリオーマⅤ (病理・解析)

座長 佐々木 光

P34-1 星細胞腫における 19q loss の意義

獨協医科大学 脳神経外科 大谷 亮平 Otani Ryohei

P34-2 低悪性度神経膠腫における早期悪性化再発予測因子の検討

東京女子医科大学先端生命医科学研究所 先端工学外科 生田 聡子 Ikuta Soko

P34-3 グレード II, III グリオーマの分子診断における ATRX 免疫組織染色の意義と異議

名古屋大学 医学部 脳神経外科 山道 茜 Yamamichi Akane

P34-4 IDH 変異型グリオーマにおける頭蓋内遠隔転移と TP53 変異及び 8q gain との関連性

藤田保健衛生大学 医学部 脳神経外科 中江 俊介 Nakae Shunsuke

22:10 ~ 22:30 ポスターセッション 35 グリオーマⅥ (高齢者)

座長 山本 哲哉

P35-1 高齢者膠芽腫における併存症と予後への関連

香川大学 医学部 脳神経外科 岡田 真樹 Okada Masaki

P35-2 高齢者神経膠腫の臨床・病理像：関西中枢神経腫瘍分子診断ネットワーク登録症例の解析

関西中枢神経腫瘍分子診断ネットワーク 深井 順也 Fukai Junya

P35-3 悪性神経膠腫が疑われる高齢者の治療選択・治療成績の後方視検討

東京女子医科大学 脳神経外科 細野 純仁 Hosono Junji

P35-4 高齢者 glioblastoma の至適治療法の探索

群馬大学 医学部 脳神経外科 大澤 匡 Osawa Tadashi

22:30 ~ 22:50 ポスターセッション 36 グリオーマⅦ (高齢者)

座長 三島 一彦

P36-1 高齢者膠芽腫患者における TMZ 併用短期放射線治療の治療経験

京都府立医科大学大学院 医学研究科 脳神経機能再生外科学 小川 隆弘 Ogawa Takahiro

P36-2 後期高齢者膠芽腫治療における集学的治療の意義と問題点

愛媛大学大学院 医学系研究科 脳神経外科学 末廣 諭 Suehiro Satoshi

P36-3 超高齢者初発膠芽腫に対する化学療法単独治療の試み

千葉大学大学院 医学研究院 脳神経外科 松谷 智郎 Matsutani Tomoo

P36-4 高齢者初発膠芽腫における減量照射+テモゾロミド併用療法と単独療法の治療効果比較

杏林大学 医学部 脳神経外科 永根 基雄 Nagane Motoo

22:50 ~ 23:10 ポスターセッション 37 周術期管理

座長 三宅 啓介

P37-1 悪性脳腫瘍に対するケトン食の有効性、安全性、実行可能性の検討

熊本大学医学部附属病院 脳神経外科・機能神経外科先端医療寄附講座 篠島 直樹 Shinojima Naoki

P37-2 悪性神経膠腫患者に対する短期集中リハビリテーションの効果

五反田リハビリテーション病院 リハビリテーション科 岡村大二郎 Okamura Daijiro

P37-3 悪性神経膠腫における抑うつ症状

広島大学 脳神経外科 高安 武志 Takayasu Takeshi

P37-4 右前頭葉グリオーマの高次脳機能経過から考察する frontal aslant tract の機能

金沢大学 リハビリテーション科学領域 中嶋 理帆 Nakajima Riho

21:30 ~ 22:00 ポスターセッション 38 基礎研究V、グリオーマ

座長 武笠 晃丈

P38-1 Bevacizumab 治療における glioma 浸潤規定因子 δ -catenin の検討

岡山大学大学院 脳神経外科 清水 俊彦 Shimizu Toshihiko

P38-2 グリオーマ浸潤規定遺伝子 FGF13 の同定と動物モデルを用いた機能解析

岡山大学大学院 脳神経外科 市川 智継 Ichikawa Tomotsugu

P38-3 神経膠腫におけるエピジェネティックな浸潤機構の探求

大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経外科 福永 貴典 Fukunaga Takanori

P38-4 グリオーマ形成に関わるエピジェネティックな制御についての検討

香川大学 医学部 脳神経外科 小川 大輔 Ogawa Daisuke

P38-5 化学療法抵抗因子 RFP に関連した新規エピゲノム転写機構アクティブエンハンサーの解明

名古屋大学 医学部 脳神経外科 平野 雅規 Hirano Masaki

P38-6 IDH 野生型グレード III グリオーマ形成におけるエピゲノムリプログラミング

名古屋大学 医学部 脳神経外科 大岡 史治 Ohka Fumiharu

22 : 00 ~ 22 : 25 ポスターセッション 39 基礎研究Ⅵ、グリオーマ

座長 夏目 敦至

- P39-1 ACTC1 の遺伝子ノックダウンによる GBM 細胞の遊走能抑制
札幌医科大学 医学部 脳神経外科 鰐淵 昌彦 Wanibuchi Masahiko
- P39-2 培養細胞株と臨床検体由来培養グリオーマ細胞における細胞外 5ALA 排出の検討
福井大学 医学部 脳脊髄神経外科 北井 隆平 Kitai Ryuhei
- P39-3 PIK3R1 germline mutation は glioblastoma における CCN1 発現および予後と相関する
岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 脳神経外科 畝田 篤仁 Uneda Atsuhito
- P39-4 デジタル PCR を用いた、SERPINA1 による Glioma の予後予測
王子総合病院 脳神経外科 大川 聡史 Ookawa Satoshi
- P39-5 WHO grade II びまん性神経膠腫における治療前後の腫瘍進展と悪性転化の数理モデル化
名古屋大学 医学部 脳神経外科 青木 恒介 Aoki Kosuke

22 : 25 ~ 22 : 45 ポスターセッション 40 基礎研究Ⅶ、遺伝子治療

座長 宮武 伸一

- P40-1 HSVtk 発現プラスミド導入幹細胞によるグリオーマ標的 enzyme/prodrug system の開発
浜松医科大学 医学部 脳神経外科 山崎 友裕 Yamasaki Tomohiro
- P40-2 マウス脳腫瘍モデルにおけるナノ粒子を用いた siRNA のデリバリーによる治療効果
高知大学 医学部 脳神経外科 八幡 俊男 Yawata Toshio
- P40-3 第 2 世代 REIC/Dkk-3 遺伝子発現アデノウイルスと bevacizumab 併用による抗腫瘍効果の検討
岡山大学大学院 脳神経外科 服部 靖彦 Hattori Yasuhiko
- P40-4 腫瘍溶解ウイルス RAMBO は bevacizumab 誘発性グリオーマ浸潤を抑制する
岡山大学大学院 脳神経外科 富田 祐介 Tomita Yusuke

22 : 45 ~ 23 : 10 ポスターセッション 41 基礎研究Ⅷ、髄膜腫、髄芽腫、他

座長 黒住 和彦

- P41-1 頭蓋底髄膜腫の発生部位、病理診断、driver gene mutation に基づいたプロファイリング
東京大学 医学部 脳神経外科 岡野 淳 Okano Atsushi
- P41-2 悪性髄膜腫における腫瘍幹細胞マーカーの発現と予後との関係の検討
慶應義塾大学 医学部 脳神経外科 釜本 大 Kamamoto Dai

- P41-3 髄芽腫における CD166/ALCAM 発現と機能解析
大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経外科 阿知波孝宗 Achiha Takamune
- P41-4 von Hippel-Lindau 病に伴う hemangioblastoma の病態の特徴
国際医療福祉大学 医学部 脳神経外科 菅野 洋 Kanno Hiroshi
- P41-5 次世代シーケンサなどを用いた中枢神経系血管芽腫 VHL 病症例と非 VHL 病症例の違い
東京大学 医学部 脳神経外科 高柳 俊作 Takayanagi Shunsaku

22 : 00 ~ 23 : 00 デジタルポスターシンポジウム 2 最新の脳腫瘍手術

座長 村垣 善浩

共催 東芝メディカルシステムズ株式会社

- DPS2-1 グリオーマ手術における supratotal removal を可能とする覚醒下脳機能マッピングの意義
名古屋大学 医学部 脳神経外科 本村 和也 Motomura Kazuya
- DPS2-2 視覚領域近傍の腫瘍摘出に対する覚醒下手術の臨床的検討
がん・感染症センター都立駒込病院 脳神経外科 小池 司 Koike Tsukasa
- DPS2-3 言語機能温存を目的とした前頭葉グリオーマ摘出限界の同定
金沢大学 脳神経外科 木下 雅史 Kinoshita Masashi
- DPS2-4 中心前回グリオーマに対する外科的治療
奈良県立医科大学 脳神経外科 松田 良介 Matsuda Ryosuke
- DPS2-5 術中 CT が有用だった脳腫瘍手術
聖隷浜松病院 脳神経外科 稲永 親憲 Inenaga Chikanori
- DPS2-6 転移性脳腫瘍における 5-ALA 支援下術中蛍光診断
大阪医科大学 脳神経外科・脳血管内治療科 矢木 亮吉 Yagi Ryokichi